

オープンキャンパス2024

6月15日[±]

7月20日[±]

8月24日[±]

13:00～16:00

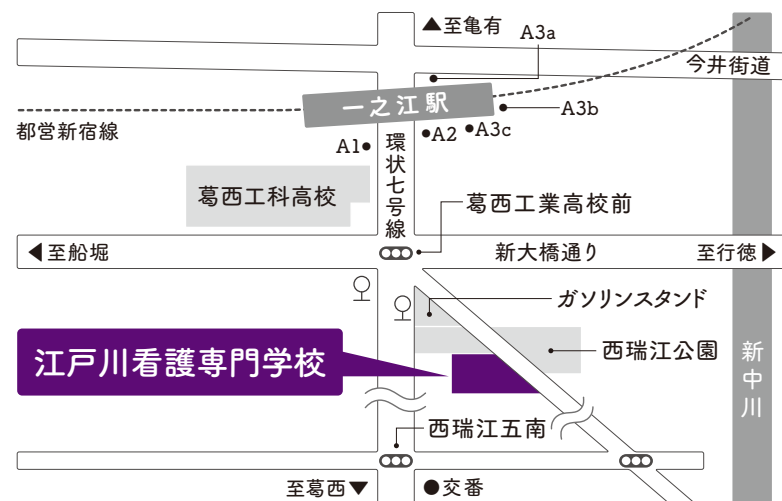
※詳細についてはホームページに随時掲載します。



一般社団法人江戸川区医師会

江戸川看護専門学校

地域貢献・協働・プロフェッショナル



一般社団法人 江戸川区医師会 **江戸川看護専門学校**

〒134-0015 東京都江戸川区西瑞江5丁目1番地6

☎ 03-5667-8338

<https://edogawa-kango.jp>

都営新宿線「一之江駅」下車

A3c出口より徒歩8分



人の心に寄り添える看護師へ

江戸川看護専門学校は、江戸川区医師会の信条である「地域医療への貢献」を基に、保健・医療・福祉のニーズを踏まえ、地域住民の健康維持、増進、回復に向け、実践力のある質の高い医療従事者を育成するために2015年4月に開校され、今年で10年目を迎えます。

3年間で看護の理論を学び、知識、技術を習得し、基礎的な看護実践能力を養うとともに、生命の尊厳を理解し、正しい倫理観を持った豊かな人間性を培うことを到達目標に掲げております。真の意味で「質の高い」看護師とは、知識や実践力のみならず、人の痛みや悲しみに心から寄り添える「優しさ」を兼ね備えた看護師のことではないでしょうか。

本校では、経験豊富な教員が、学生の皆さんに対して、成績以外にも置かれている生活背景等を考慮し、卒業に至るまできめ細かな指導をしております。我こそは！と思われた皆さん、医療の道を一緒に歩もうではありませんか。私たち教職員は皆さんを全力でサポートすることをお約束いたします。



学校長 小林 裕之

Kobayashi Hiroyuki

この春、本校は10回目の入学式を迎えることとなりました。

江戸川区医師会を設置母体として、50年以上の准看護師教育を重ね、看護師教育機関として10年目を迎えた今、感慨無量の思いであります。

「江戸川看護高等専修学校」から3年課程の「江戸川看護専門学校」となり、卒業生も約3000名に続き、本校も今年で226名が巣立っていきました。

大半の卒業生は江戸川区内の医療機関で活躍しており、先輩ナースから後輩ナースへと引き継がれ、「地域医療の貢献」に日々奮闘しております。

また、本校の教育機関においても、卒業生が講師として自身の体験を踏まえた講義をするなど、次世代の地域医療を担う看護師の卵を、我々教職員と共に尽力を尽くしているところです。

本校は看護専門学校なので、学業に加え特に職業教育を重視しております。

社会人として生きていく力を養い、看護専門職業人として地域で暮らす人々に寄り添い、地域の医療機関や多職種との連携を図っていくことが「地域医療の貢献」につながると考えています。

看護師を目指す皆様、伝統ある本校で是非、教職員・在校生と共に学んでみませんか！



教務課長

直正 恵津子

Naomasa Etsuko

教育理念

生命の尊厳、人権の尊重と高い倫理観を基盤とした豊かな人間性を養い、人間に対する深い理解と共感を持つことのできる専門職業人を育成する。科学的な知識に基づき主体的に行動でき、保健医療福祉の発展に対応できる生涯学習能力を兼ね備えた看護実践者を育成する。

アドミッションポリシー（求める学生像）

1. 高い倫理観と豊かな人間性を身につけ、保健・医療・福祉の分野で社会に貢献する意欲があること。（倫理、人間性、社会的責任）
2. 保健・医療・福祉における課題を自主的に発見し、解決に向けて主体的に取り組む意欲があること。（自主性、主体性）
3. 保健・医療・福祉における幅広い知識や技能を主体的に学習し、論理的思考を身につける熱意があること。（知識、技能）
4. 周囲や他分野の人々と積極的にコミュニケーションを図り、保健・医療・福祉活動を安全に遂行する意欲や能力があること。（協調性）

3つのポリシー

ディプロマポリシー（卒業生像）

1. 人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として幅広く理解できる。
2. 生命の尊厳を理解し、人権を尊重して、人々の健康と生活を環境との相互作用及び心身相関の観点から理解できる。
3. 社会のニーズや人々の多様な価値観を認識し、専門職業人としての共感的態度及び倫理に基づいた行動ができる。
4. あらゆる健康の段階や障害の状態にある人々の健康上の課題に対応するために、科学的な根拠に基づいて判断し、安心で安全な看護を実践できる基礎的能力を習得することができる。
5. 人間関係を基盤に置き、相互理解及び相互成長できる。
6. 保健・健康・福祉制度と他職種の役割を理解し、人々が社会資源を活用できるよう協働・調整するための基礎的能力を習得することができる。
7. 看護を探究する姿勢と向上心を持ち、人間としての自己成長を目指して自主的に学習し続けることができる。

カリキュラムポリシー

本校の教育は、豊かな人間性を養い、人間に対する深い理解と共感を持つことのできる専門職業人の育成を理念としている。

そこで、看護師として必要な専門的知識・技術・態度を修得し、生涯にわたり自ら学び続ける能力を身に付け、社会に貢献しうる質の高い看護実践が期待できる有効な学習となるように考えた。

教育課程は、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野で構成されている。

地域医療に貢献をモットーに質の高い看護師を育成

江戸川マラソン大会



江戸川区防災訓練



熟年者向けスマホ教室



沿革

昭和 36年 9月28日	准看護婦学校設立委員会設置	平成 2年 4月	准看護婦課程カリキュラム改正
37年 4月 1日	江戸川区医師会付属准看護婦学校設置(定員50名)	4年 11月28日	学校創立30周年記念式典
40年 4月	定員改正60名	13年 4月	定員改正50名
41年 8月 1日	各種学校認可	13年 11月17日	学校創立40周年記念式典
46年 4月	定員改正80名	24年 7月	医師会内に「江戸川看護専門学校」開設準備委員会を設置
	学校創立10周年記念式典	26年 12月	看護師学校養成所指定承認
52年 7月16日	専修学校認可を受け、「江戸川看護高等専修学校」と改称	27年 3月	「江戸川看護高等専修学校」(准看護婦課程)閉校
56年 11月20日	学校創立20周年記念式典	27年 4月	「江戸川看護専門学校」(3年課程)開校(定員40名)

入学定員

40名

主な実習施設

江戸川病院・森山記念病院・東京臨海病院・江東病院・葛西昌医会病院・東京都立墨東病院・岩倉病院・賛育会病院・東京女子医科大学病院・東京女子医科大学附属足立医療センター・森山医会訪問看護事業所・江戸川区医師会訪問看護ステーション・江戸川区医師会地域包括支援センター・あそ訪問看護ステーション・東京城東病院附属介護老人保健施設・介護老人保健施設やすらぎ・瑞江ホーム・杉浦ウメンズクリニック・江戸川区医師会クリニック(小児科)・社会福祉法人えどがわおひさは保育園・江戸川区社会福祉協議会なごみの家

進学先

熊本保健科学大学助産別科
北海道教育大学函館校看護教諭特別別科
東海大学医学部医学科
高崎市医師会看護専門学校助産学科

課程

医療専門課程看護学科(3年課程)

主な就職先

森山記念病院・東京臨海病院・江東病院・江戸川病院・葛西昌医会病院・同愛会病院・賛育会病院・東京都立墨東病院・イムス東京葛飾総合病院・聖マリアンナ医科大学東横病院・東京歯科大学市川総合病院・東京都立東部療育センター・がん研有明病院・国立がん研究センター東病院・東京女子医科大学八千代医療センター・順天堂大学医学部附属病院・東部地域病院・東海大学医学部付属病院・東京通信病院

卒業後の資格

看護師国家試験の受験資格
保健師・助産師学校養成所の入学資格
専門士(医療専門課程)称号の取得

教育課程

104単位 3060時間

専門分野 44単位 (1125時間)

看護の統合と実践 (5単位120時間)	統合実習 (2単位90時間)
精神看護学(3単位75時間) 母性看護学(3単位75時間) 小児看護学(3単位75時間)	看護学実習 (17単位765時間) 精神看護学実習 母性看護学実習 小児看護学実習 生活再構築看護実習 生活支援看護実習 臨床看護基盤実習 在宅看護論実習 地域看護論実習
成人看護学(4単位90時間) 老年看護学(3単位60時間)	
地域・在宅看護論 (6単位135時間) 地域と暮らし 家族看護学 地域・在宅看護論	
基礎看護学 (11単位330時間) 看護学概論、共通基本技術、 日常生活援助技術、 診療補助技術、 看護過程方法論	基礎看護学実習 (4単位180時間)

専門 基礎分野 22単位 (555時間)

人体の構造と機能	看護形態機能学、解剖生理学、 生化学、栄養学、臨床栄養学
疾病の成り立ちと回復の促進	病理学総論、疾病と治療、薬理学、 微生物学
健康支援と社会保障制度	現代医療論、公衆衛生、社会福祉、 関係法規、看護理論、看護倫理

基礎分野 15単位 (345時間)

科学的思考の基礎	学習と文章、論理的思考、教育学、 臨床哲学
人間と生活・ 社会の理解	情報通信技術(ICT)、人間発達学、 社会学、生物学、心理学、運動生理学、 人間関係論、環境学、生活科学概論、 看護情報リテラシー、英語

年間スケジュール

月	学校行事	入試関連
4月	●入学式 ●新入生ガイダンス ●健康診断	
6月		●オープンキャンパス
7月		●オープンキャンパス
8月	●夏期休暇	●オープンキャンパス
9月	●江戸看祭	
10月	●江戸川区防災訓練	●指定校推薦入試 ●一般推薦入試 ●社会人入試
11月	●戴帽式	
12月	●冬期休暇	●第1回一般入試
2月	●看護師国家試験	●第2回一般入試
3月	●卒業式 ●春期休暇	

学費

入学金：300,000円

年次	授業料	教育実習費	施設設備費	合計
1年	600,000	150,000	150,000	900,000
2年	600,000	150,000	150,000	900,000
3年	600,000	150,000	150,000	900,000
合計	1,800,000	450,000	450,000	2,700,000

※ 詳しくは、学校ホームページをご覧ください。

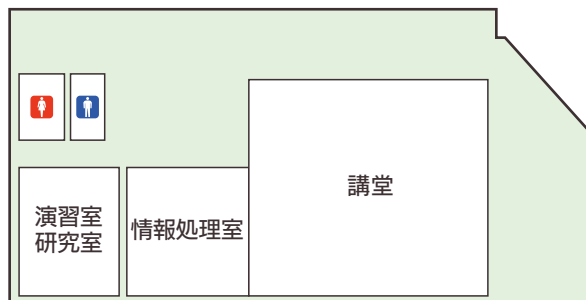
Floor Map

柔らかな自然採光を取り入れるとともに、熱負荷の低減を図った省エネルギー・環境に配慮した建物となっています。

RF ルーフテラス
公園の緑を借景に取り入れたゆとりある空間で、学生の憩いの場として活用されます。



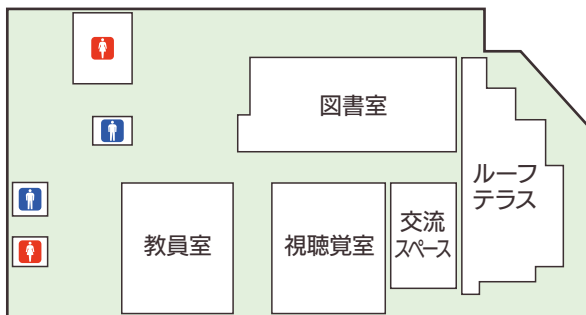
4F 演習室・研究室
講義でのグループワークや学生の委員会活動等に使用します。各種教材として標本類がおります。



3F 実習室
実習室は2つあります。実習室1は主に基礎等の実習で使用します。実習室2は母子・在宅看護実習用です。



2F 交流スペース
ルーフテラスの前にあります。開放感のある明るい空間で、休憩時間などに使用できます。



卒業生インタビュー



1期生 佐藤 里久 (2018年卒業)
医療法人社団昌医会葛西昌医会病院

当学校は2015年設立以来10期生を迎える年となりました。私自身、看護師になるまでに色々な事があり、遅咲きの看護師として亀田総合病院にてERとカテーテル室の兼務から転職後HCUを通し、沢山の疾患を学びました。現在は、江戸川区の葛西昌医会病院でINE認定看護師としてHCU、救急外来、カテーテル室にて従事しております。

特に脳外科、心臓外科、循環器内科は忙しいですが、チーム一丸となり楽しく働いております。

1年目からのERは本当に大変で、毎日が学習の日々でしたが、とても有意義な時間だったと今は感じています。救命に1番興味があり、BLS、ACLS-EP、

PALS、JPTECなどの資格をもとに日々次のステップに向けて、勉強しています。OFF日には、趣味である釣り、サーフィン、旅行に行きリフレッシュするのがライフスタイルです。

今年度入学される1年生も含め、学生の皆様は学業、実習と大変な時期ではあります。辛いとき悩んだ時どうしても自身を見失いがちになることもありますが、自分自身の心を大事にして頂き、自信を満たして頂けたらと思います。

そのためにも、仲間や友人、家族、先輩、教員に相談をしながら学校生活を楽しんでいただけたらと思います。陰ながら応援しております。

5期生 栗原 舞花 (2022年卒業)
社会福祉法人仁生社江戸川病院

江戸川病院に勤めている栗原です。私は3A病棟で働いていて、主に消化器外科・内科の患者さんが入院されています。患者さんが元気に退院していくところをみてやりがいを感じています。日々勉強することが多く大変ですが頑張っています。江戸川看護専門学校では、実習や国家試験に向けて友人と助け合いながら努力してきました。これからも看護師としてより良い看護ができるよう頑張っていきたいです。

5期生 山田 摩耶 (2022年卒業)
社会福祉法人仁生社江戸川病院

江戸川病院2D病棟に配属されている5期生の山田摩耶です。看護師として臨床に出て3年目になりました。2D病棟は整形外科単科の病棟で、手術を控えた患者さんが毎日入院してきます。患者さんが思いや不安を表に出しやすいよう、患者さんの立場に立ち積極的にコミュニケーションを取り、安心感を与えられるよう日々看護をしています。

私は社会人経験を経てからの入学でした。はじめは馴染めるか不安でしたが、年齢にとらわれず支え合える仲間に恵まれ、実習や国家試験を乗り越えることができたと思います。江戸川看護専門学校は学生を暖かく見守ってくれる学校で、先生方は学生の些細な疑問や悩みにも真剣に向き合ってくれます。私は実習病院に就職したので、実習期間に先生方と会えることが些細な楽しみであり、安心できる時間になっています。

6期生 村田まどか (2023年卒業)
日本私立学校振興共済事業団東京臨海病院

【学生生活】私は社会人を経験を経て学校へ入学したため、長らく学習ということから離れていました。最初こ

そ不安でしたが、優しい先生方にサポートしていただいたお陰で学習面での不安はすぐなくなりました。また学校では同じ夢を目指す仲間とも出会うことができました。在学中は一緒に勉強したり実習での経験を共有するなど、互いに励まし合うことでたくさんの課題を乗り越えられました。現在は、仲間とは違う病院で勤務していますが、今でも仕事やプライベートな相談ができる素敵な関係が続いています。

【国家試験】とにかく今までで1番勉強しました。朝から晩までひたすら勉強！いくら勉強しても時間は足りず、試験当日は本当に緊張して本来の力は出せませんでした。実習と勉強の両立は大変ですが、今から勉強していればきっと大丈夫です。

【一年目について】看護師1年目は覚えることがたくさんあり、もちろん勉強も必要なためとても大変ですが、その分やり甲斐のある仕事だと思います。先輩方も優しくサポートしてくれるため、とても働きやすいです。また、患者さんから感謝されることも多いため、より頑張ろうとすることができました。

6期生 大塚 由理 (2023年卒業)
社会医療法人社団森山医会森山記念病院

看護師になることを決意し学校に入学しましたが、コロナウイルスの影響から1年間はほとんど学校に通えない学生生活でした。右も左もわからない状態のままひたすら解剖生理の勉強を自己学習する毎日で時が過ぎました。2年生になってやっと学校に通えるようになりましたが実習も中止になってしまったりと思うような学生生活ではなかったです。しかし、振り返ると実習先で出会った患者さんやその時に感じた思いなどから、今の自分が大切にしたいと思える看護を学んだと思います。国家試験に向けて毎日10時間以上勉強する中で心が折れそうになったり、自分の学習が本当にこれであって

のか不安になったりもしましたが、先生方や同じ目標に向かう周りの友達に支えられてもらったからこそ、乗り越えていけたと思います。

いざ昨年春に入職し、新人看護師として働くことになり研修や日々の業務の流れを覚えていくことに必死な毎日でした。受け持ち患者の人数も増えていく中で、家に帰ってからも勉強する時間が増えていくため、辛く感じる時もありました。そんな毎日を過ごす中で患者さんとお別れも何度も経験し、本当に自分はその人のために何ができていたのかを振り返る時間も多くなります。未熟であるがゆえに、後悔と失敗の連続で逃げ出したくなる日も多くなりました。また、感染対策の影響から家族も思うような面会が出来ず、目の前にいる患者さんにとって看護師という存在は大きく、誰よりも1番の理解者でなくてはならないということも、この1年間で学び、感じてきました。まだまだ出来ないことも多いですが、常に患者さんと真っ直ぐに向き合いながら関わっていきたいと思っています。自分が理想とする看護師に少しでも近づけるように日々努力し続けていきます。

6期生 大場 花 (2023年卒業)
医療法人社団同愛会病院

江戸看での学生生活の思い出は、実習が大半を占めるくらいずっと実習をしていた印象があります。その実習を乗り越えられたのは、実習担当の先生方が、熱心に指導してくださったり、親身になって話して聞いてくれたおかげです。講師の先生も含めてとても優しい先生に教えていただき、楽しく勉強できた学生時代でした。現在は江戸川区内の病院で働いています。個々の進捗状況で土日祝日の日勤、夜勤へとステップアップしていけるので、自身のペースに合わせて指導して頂ける環境が私に合っているなと思っています。